

JUEL 杯の順位決定方法について

今年の JUEL 杯では、「偏差値法」を用いて本戦の順位を決定致します。

1. 偏差値法とは

スピーカーの各得点を偏差値化し、ジャッジ各人から得た**偏差値の合計ポイント**によって順位を決定する方法。

例) ※数値は適当です

ジャッジAから、バロット上で 78 点を獲得

→ジャッジAの評価の中で偏差値換算し、62.1 ポイント

ジャッジBから、バロット上で 86 点を獲得

→ジャッジBの評価の中で偏差値換算し、66.3 ポイント

⇒このスピーカーの獲得ポイントは $(62.1 + 66.3) = 128.4$ ポイント

※偏差値の算出方法は下記 URL をご参照下さい。

<http://homepage1.nifty.com/gfk/average.htm>

2. 偏差値法を用いた理由

理由は二点です。

①ジャッジ一人一人の影響力を平準化するため

例えば 10 人の出場者に対し、

- ・ジャッジ A が付けた点数の平均点が 70 点
- ・ジャッジ B が付けた点数の平均点が 85 点

の場合、「得点法(後述)」で順位を決定してしまうと、

ジャッジ B が出した得点の方が相対的に、順位に大きく反映されてしまいます。

その偏りを、偏差値法なら回避出来るため、より公平性の高い評価付けが可能であると判断しました。

※この偏りは、「順位法(後述)」を導入した際にも解消できますが、
順位制を採用しなかった理由について、②をご参照下さい。

②「評価の差の大きさ」を反映するため

例えば、あるジャッジの評価で

- ・最高得点が 92 点
- ・二番目に高い得点が 86 点
- ・三番目に高い得点が 84 点

であったと仮定します。

これを「順位法(後述)」によって評価すると

- ・1 位の人へ 1 ポイント
- ・2 位の人へ 2 ポイント
- ・3 位の人へ 3 ポイント

となります。

1 位と 2 位の人との評価の差は 6 点で、2 位と 3 位の人との差は 2 点です。

つまり、1 位の人が頭一つ抜けて高評価を得ているのに、

順位法では 1 位と 2 位の差も、2 位と 3 位の差も同じ 1 ポイントとなってしまいます。

それに対し、偏差値法を用いれば、「評価の差」をより正確に反映した結果が得られると判断しました。

◆参考

得点法：ジャッジそれぞれの点数合計により順位を決定する方法

例) ジャッジ A から 80 点、ジャッジ B から 70 点獲得

→このスピーカーの評価は 150 ポイント

順位法：得点によりジャッジ一人ずつの順位を出し、その順位合計が少ない順に評価する方法

例) ジャッジ A から 5 位の評価、ジャッジ B から 7 位の評価を獲得

→このスピーカーの評価は 12 ポイント(ポイントが少ない方が高評価)

ご連絡は以上となります。

質問などありましたら、juelcup2012@gmail.com までお気軽にご連絡下さい。

文責

川野晴央（上智大学インスト 4 年）

勝股 俊敬（JUEL CUP 実行委員長）